

**GPT監査テーマ： 夏休みの読書感想文と生成AI**

**【プロンプト（生成AIへの入力内容： Written by Tomonori Tomura）】**

「優秀な信頼性あるプロの家庭教師として、夏目漱石の『吾輩は猫である』という書籍について、以下の制約条件を基にして、夏休みの宿題である読書感想文を出力して下さい。

制約条件1： 文字数は800文字以上で1200文字以内

制約条件2： 小学5年生レベルの日本語の文章

制約条件3： 猫を飼ってみたいと思ったときに読んだ書籍としての個人的な感想を織り交ぜる」

**【アウトプット（生成AIからの出力内容 Written by ChatGPT-3.5）】**

『吾輩は猫である』は、夏目漱石によって書かれた名作です。この本は、私が猫を飼ってみたいと思ったときに読んだ書籍の一つであり、猫の世界について深く考えさせられました。

物語は、一匹の猫が主人公として語り手となって展開されています。猫の視点から描かれたこの物語は、私たちに猫の内面や行動の理解を深める機会を与えてくれます。例えば、猫の気ままさや好奇心、そして独特な世界観などが、猫を飼ってみたいと思った私には非常に興味深いものでした。

また、本書では人間社会の風刺や皮肉も多く描かれています。主人公の猫が飼い主や周りの人々を観察し、それに対して鋭い視点でコメントする場面が何度も登場します。これによって、私たちは人間の態度や行動を客観的に見つめることができ、人間関係について考えさせられました。

猫という動物に対する作者の愛情も感じられます。作者は、猫の生活や本能、そして猫が人間との関わりの中でどのような行動をとるのかを描きながら、猫に対する深い理解と共感を示しています。このことから、猫を飼ってみたいと思った私にとって、猫との関わり方や猫の気持ちを考えるきっかけとなりました。

『吾輩は猫である』は、猫をテーマにした作品としては非常に優れています。猫の視点から描かれたストーリーや人間社会の皮肉など、さまざまな要素が組み合わさっています。読んでいるうちに、猫の世界にどっぷりと没入し、自分自身も猫を飼ってみたいという思いが強くなりました。

私は、この本を読んだことで猫に対する理解が深まり、猫を飼うことに対する憧れが一層強まりました。猫は独特の魅力を持つ存在であり、その姿や行動から多くのことを学ぶことができます。『吾輩は猫である』は、猫を飼ってみたいと思う人にとって、きっと興味深く、また楽しい読書体験となることでしょう。

以上が私の夏休みの読書感想文です。この本を読んで、猫という生き物の素晴らしさや魅力を再確認すると同時に、自分が猫を飼うことに対してますます前向きな気持ちになりました。

※上記840文字のものが出力された。

**【所長のGPT監査ノート（Written by Tomonori Tomura）】**

「ChatGPTが普及し、誰でもかんたんにGPT3.5レベルのものならスマホのアプリでも生成AIを活用できるようになったということは、STEM教育・ICT利活用が進む小学生でも、夏休みの宿題を生成AIにやらせようとする可能性はある。その対策として、個人的な経験や感想を盛り込め、という学校側の統制（コントロール）策が、果たして十分に機能するのか、また、もっともらしい虚偽の記載でもスラスラともっともらしく出力する現状の生成AIが、どこまで宿題ハッカーたる小学生の意に沿うレベルのものを生成できるか、といったことも気になり、悪用・濫用などは意図しない中で試しに検証してみたところ、かなり宿題として出せそうなものが仕上がってきた。変に統制したり生成AIの利用を禁止したりするより、いかに生成AIを使いこなして生成AIを前提としてどれだけ素晴らしい成果物を提出できるかを評価軸にしてはどうかと感じた。」

